

書 燈



写真上：トークセッション「まちの本屋」のこれから
写真左：トークショー&読書会

～あなたにぴったりの本を選びます～

(記事は4ページ)

バベルの図書館の中の考える葦

中務 雅史

図書館に配架されたおびただしい数の本を前にすると、時々、茫然とする。これらの本の99%以上を私は読むことがないまま人生を終えるだろうが、人間の築いてきた叡智の途方もなさや、自分自身の限りない無知、そして知識の不可思議さや崇高さに圧倒される。

ごく個人的には、図書館はこのような体験を可能にする静謐な空間であってほしいと思っている。

昨今の図書館は読書や調べものだけでなく、学習や催し物や交流など、様々な役割を担うことを期待されているが、他の公共空間で機能的に代替できないものは（つまりは図書館の本質とは）、実はこの種の静謐さだけではないかと思っている。知識を頭とともに、そこにあるこの身体で、この全身で体験できる図書館という空間。

ところで、ホルヘ・ルイス・ボルヘスの有名な短編『バベルの図書館』には、考えられうる限りのすべての本が所蔵されているという。所蔵本はどれも410ページからなり、25個の文字と記号によって実現できる組み合わせのすべての組み合わせが一冊ずつの本になっている。したがってほぼ無限ともいえる所蔵本のほとんどが無意味な文字列の本であるが、理屈の上では宇宙の真理が記された本すら所蔵されていることになる（それが言葉で記されるなら）。

この短編は思考実験や様々な比喩として引き合い

にだされるが、2022年にChatGPTが登場し、生成AIが爆発的に普及していくなかで、現実の世界がバベルの図書館のようになりつつあるのではないかと私は感じている。

私たちはもう間もなく（あるいは既に）、文字だけでなく、写真も音声も動画も真偽不明の、誰が何の目的で発信したのかわからない無限の情報のなかで暮らしていくことになるにちがいない。開いても開いても奇妙な文字列しか綴られていないバベルの図書館の本を渉猟するように。

本当の知識はどこにあるのだろうか。

生成AIは紙の本や人力のレファレンスを駆逐するかに見えて、逆に本当の知識を（あるいは知識の本当さを）変容させてしまうのではないだろうか。バベルの図書館化する世界の中で、むしろ人間（司書）が選書し、人間がレファレンスを行うリアルな図書館の方がいっそう重要になってくる予感がする。なぜなら、そこにはまだ辛うじて人間がいるし、生成AIは現実の図書館で私たちが体験できる知識のあの静謐さをまだ侵してはこなさそうだからである。

私たちはこれからきっと、生成AIに思考と知識をますますアウトソーシングするようになるだろうが、「考える葦」が再びそれらを取り戻していくときの空間として、リアルな図書館は求められていくのではないかと、私には思われる。

(総務課係長)

2024 年度近畿公共図書館協議会研究集会の 開催について

総務課課長 村井博之
利用サービス課 北澤拓実
篠原吉乃
天田沙斗子

1. 概要

神戸では 2014 年度以来の開催となる近畿公共図書館協議会研究集会が、8月23日（金）に、なでしこ芸術文化センター内、西神中央ホールで開催された。当日の参加者数は170名で、公共図書館関係者、学校図書館関係者、読書ボランティアなど沢山の皆さまにご参加いただいた。

研究集会前にはセンター内にある西図書館を自由に見学していただけるようにした。

2. 準備

2023年8月に神戸市立中央図書館内に実行委員会を組織し、中央図書館長を委員長とし、各ラインの係長や担当者を委員として、プログラムについて検討を重ねた。今回は児童奉仕がテーマとなっていたため、子どもの読書について数多くの著作を著され、各所の講演会や図書館雑誌への寄稿などでご活躍されている学習院大学の秋田喜代美氏に、基調講演の講師を依頼することとした。

開催日は2024年8月23日に決定。過去の例では年末や年明けなどに開催されることが多かったが、今回は夏場に開催することとなった。秋田氏に講師をお引き受けいただいていることは、全体のテーマを「子どもの読書環境の変化と読書環境のデザイン」と定め、事例発表者の選定を行った。事例発表については、新長田図書館で行っている定住外国人支援と、豊中市立図書館で行っている一時保育、また、書店店主で一人出版社の代表でもある北田博充氏に、書店・出版社の立場からお話をさせていただくことに決定した。

会場は、お披露目の意味もあり、2022年10月にオープンした西神中央ホールと西図書館とした。

2024年7月の近畿公共図書館協議会理事会において、集会の開催とそれに係る経費の支出が承認され、そこから申し込み受付を開始。申し込み期間が短く心配していたが、多くの方にお申し込みいただいた。今回の参加申し込みは神戸市のイベント申込サイト「おでかけ KOBE」を通じて行った。

開催までの数日間は、配布資料の準備などを急ピッチで行い当日を迎えた。

3. 当日内容 基調講演

子どもの読書環境の変化と読書環境のデザイン
学習院大学文学部教授 秋田喜代美氏

赤ちゃんに絵本と読み聞かせの体験を届けるブックスタートは、日本では1999年に子ども読書年推進会議で取り組むことが決定し、翌年ブックスタートとして発足した。秋田氏は立ち上げに携わられており、イギリス視察旅行など興味深いお話が伺えた。

子どもの読書環境については、家にある本の冊数や読書時間の個人変化のデータ等から、家庭での過ごし方と子どもの発達をエビデンスに基づきながら解説。家庭での格差が大きくなっているため、園や学校での本との出会いが重要だが、園や学校間でも読書推進体制や蔵書数の格差があり、公共図書館が団体貸出などの支援を担う必要がある、とされた。

また、デジタル時代の本と子どもの出会いについて、絵本の読み聞かせの比較研究では、紙もデジタルも内容の理解という点でほとんど差が見られないこと、紙の本が持つ色や質感等、デジタルの視認性や即時アクセス性をそれぞれ評価され、上手く併用することが重要と語られた。

最後に「絵本・本を読む経験が、子ども自身の心に生涯の人生の灯をともします。その発火装置としての仲間、保護者、保育者、教師、図書館や書店、地域コミュニティ、そのデザインを行う人の育成が必要です」と結ばれた。



秋田喜代美氏

事例発表

① 定住外国人支援と図書館との連携の形
神戸市立新長田図書館館長 舘裕之氏

新長田図書館がある神戸市長田区は多くの在留外国人・在日外国人が住んでいることで知られる。新長田図書館で2010年度から始動した、NPO法人神戸定住外国人支援センター（KFC）との連携事業について紹介された。

事業は図書館で行う親子向けの多言語おはなし会として始まり、現在は出張での読み聞かせやKFCが実施する勉強会での図書館利用案内等を行っている。待っていても利用者は増えないという考えのもと展開する地域に寄り添ったサービスは、日本語を母国語としない地域住民が、本を読むことや図書館利用へ興味を持つきっかけとなっている。

② 豊中市立図書館における児童サービスと
「図書館で一時保育」
豊中市立岡町図書館主査 小西知美氏
豊中市立岡町図書館 石田典子氏

豊中市立図書館における子どもの読書活動推進の取り組みについて紹介された。

2005年策定の「豊中市子ども読書活動推進計画」の理念を引き継ぎ、2015年に「豊中市子ども読書活動連絡会」を発足。市民、幼稚園・保育園の職員等の子どもと関わる人たちが参加し、子どもの読書を全市的・多角的に見守っている。また、外国人の子どもたちにむけた「世界のこどもの本の部屋」、動く図書館による障害児通園施設への巡回等、すべての子どもたちに読書環境を整えるため多様なサービスを展開している。図書館を利用しづらい世帯へのサービス拡充にも取り組んでおり、2023年に子育て世代向けに開始した「図書館で一時保育」を紹介された。

③ 本への入口を創る・広げる
～書店・出版社の立場から～
梅田 蔦屋書店 店長 / 書肆汽水城 代表
北田博充氏

書店員・出版社・本と人を繋ぐ仕事の3つの顔を持つ北田氏は、本を読まない人たちに本を読んでもらえるように、本への入口を創る・広げる方法を紹介された。文化庁の世論調査によると、どの年代も約半数の人は1ヶ月に1冊も読まない。本の魅力を伝え、新たな読者を創る人を「広義の本屋」と定義し、狭義の本屋（書店や出版社）とともに役割を果たすことで書店業界は維持・発展していくという。

本への入口を創る取り組みとして、高校の授業に小説家と音楽家を招き、生徒と一緒に創作活動やインフルエンサーによる本紹介をあげられた。また、本への入口を広げる取り組みとして、インフルエンサーとの合同企画や本の購入時におしゃれなブックカバーを渡すなど、異業種の成功事例を書店業界に活かした6つの方法を紹介された。

〈新規採用職員エッセイ〉

日々資料と出会い、学ぶ

天田 沙斗子

神戸市立図書館の司書となり、あっという間に1年が経とうとしている。私は前職で大学図書館に勤めていたが、公共図書館での仕事はほとんどが新しく覚えることばかりだ。正直なところ目の前の仕事をこなすのに精一杯で、半年ほど経ってようやく図書館全体の行事や他部署の活動などにも目を向けられるようになってきた。

新しいことを覚えるのは大変だが楽しくもある。私が配属された調査相談ラインには、実にバラエティに富んだ質問が飛び込んでくる。身近なちょっとした疑問から、論文でも書くのだろうかという専門的な調査相談まで幅広い。私にとっては日々のレファレンスが修行の場である。

利用者から質問を受けた私があたふたしているうちに、先輩方が横からずっと分厚い参考図書を差し出してくださるのだが、私にはどこを見てどう使えば良いのか分からない。まずその資料はどこから出して来たんだろう？と驚いている間に、また次の資料が出てくるのである。どうか対応を終えた後、先程の資料に見当をつけた理由や使い方などを質問して確認するようにしている。先輩方は、以前にあった事例も含め丁寧に教えてくださるので大変ありがたい。

またレファレンスでは地下書庫の資料をよく利用する。書庫には新旧形態様々な資料が膨大に所蔵されており、初めて入った時はその量と分類の複雑さにただ圧倒されたのを覚えている。出納や返本作業を通して徐々に慣れてくると、どこにどんな資料があるのか興味が出てきた。まずは大雑把にでも棚の配置を覚えることが目標であるが、その過程でどんな資料があるのかも合わせて確認していきたいと考えている。

このように私は毎日の業務の中で様々な資料と出会い、学ぶ機会をいただいている。難しいレファレンスにあたることもあるが、思いがけないところからヒントが見つかる嬉しく、面白い。私自身が面白いと感じながら身につけたレファレンスの知識が、いつか多くの利用者の役に立てるサービスに繋がるよう、これからも精進していきたいと思っている。

(利用サービス課)

ー神戸「本」の文化振興プロジェクトー

「世界をひろげる、ほんとの出会い」をキャッチコピーに、書店や出版社などと連携し市民と本との出会いの場をつくっていくことを目的としたプロジェクトが、全市的な取り組みとして始動している。

図書館においては、市内の出版社を紹介する展示コーナー「神戸で本をつくる」を2024年7月より中央図書館1階に設置している。展示は定期的に入れ替えを行っており、これまでにBL出版、出版ワークス、エピック、神戸学院大学出版会にご協力をいただいた。

また、2024年11月3日、選書専門オンライン書店チャプターズ店主の森本萌乃さんと小説紹介インスタグラマーの空蒼(くう)さんによる「トークショー&読書会～あなたにぴったりの本を選びます～」(参加者：28人)を開催し、参加者同士の本を通じた交流の場となった。また、11月10日に開催した「トークセッション「まちの本屋」のこれから」(参加者：67名)では、神戸を含む関西各地で書店を営む7名の方が、それぞれの店舗で行っている個性的な取り組みを紹介し、これからの時代の書店のあり方などについて話し合った。

また、プロジェクトについて市民に広く周知するためにロゴを作成した。ロゴは、本の形をした船が広い世界に向けて旅立っていく



姿をイメージしたデザインとなっている。今年度より新たに船出したこのプロジェクトでは、引き続き様々な企画を行っていく。(利用サービス課・川村)

ー図書館への児童書寄贈についてー

一般財団法人みなと銀行文化振興財団から須磨図書館48冊、垂水図書館45冊(各10万円相当)の児童書を寄贈いただいた。2016年度より毎年2館へ寄贈いただき、両館へは2回目となる。

(利用サービス課・赤澤)

ー中央図書館児童コーナーのリニューアルー

昨年度のクラウドファンディングによる改修の一環で、児童コーナーの一部拡張と書架増設(8月)、カーペットコーナーの絨毯張替(10月)を実施。緑色の絨毯が好評である。(利用サービス課係長・棟安)

ー10月に書庫 電動集密書架の改修工事を開始ー

今年度より2か年で実施。電動機・安全装置・照明の取替と配線等の工事をを行う。レールと鉄製書架は取替せず、工事面に接する資料を松本海事文庫、吉川文庫の書架に仮置。両文庫の資料は箱詰めして

全工事期間利用休止とした。利用休止資料のOPAC非表示処理、HP等による広報で、市民の不便が最小限となるよう努めた。(利用サービス課係長・問屋)

ー神戸賀川サッカー文庫10周年記念行事ー

2014年の文庫開設から10年を迎え、記念行事を行った。10月2日～16日1階ロビーにて、賀川浩氏の業績や文庫関連行事を紹介するパネル展示を行い、10月14日には記念サロンを開催した。サロンは、サッカー関係来賓諸氏による祝辞挨拶と開設時から文庫に携わってきた元図書館担当者を含め3氏による講演会で構成。賀川氏は録画ビデオでの参加となったが、会場は氏を称え慕う雰囲気でもたされた。

(利用サービス課・波多野)

12月5日、賀川氏は99歳で逝去されました。
ここに謹んで哀悼の意を表します。

ー「ズワルテンダイク・オランダ領事と

『命のビザ』知られざる原点」展の開催ー

11月22日～12月6日に1階ロビーで、駐日オランダ王国大使館主催の同展示を、大使館、本市国際課、図書館の連携により開催。当時の様子がわかる貴重な写真や映像に、多くの方が足を止めていた。

(利用サービス課長・榎井)

ー地域館トピックスー

【ふらっと体験スマホ図書館】

11月8日、灘図書館はスマートフォンで利用できる図書館サービス(K-libネット、電子図書館等)の体験会を実施した。当日募集で6人の参加があった。後日、評判を聞いた方から「今日のはしていないのか」との問い合わせもあり、当行事へのニーズの高さが伺えた。

【HATA+BE+秋祭りブックトーク「森の図書館」】

9月22日、西図書館は、HATA+BE+(西区押部谷にある都市と地域の人の交流拠点)が主催する秋祭りで、秋の食べ物をテーマにしたブックトークと、関連本展示を行った。ブックトークには12人の参加があった。(総務課・石黒)

ー手帳ー

会議 毎月1回 中央図書館職員安全衛生委員会

7.30 第8期第4回神戸市立図書館協議会

研修 10.17 館内研修「本の修理講座」

12.19 館内研修「あしたの図書館を考える」

工事 6.4～2.17 中央図書館照明設備LED化工事

その他 10.20 市民満足度調査

12.19 中央図書館消防訓練

1.27 中央図書館夜間ライトアップ開始

2024年度神戸市立図書館読書週間行事報告

展示

中央図書館	「陸蒸気がやってきた～神戸ステーション150年」	10月18日～11月15日
	「みんなの推し本はコレだ！」	10月18日～11月15日
	「忘れられた宝物、再発見の旅」	10月18日～11月15日
東灘図書館	「世代をこえて愛される本」	10月22日～11月17日
	参加型展示「カバンに入りたい この1冊！」	10月22日～11月17日
灘図書館	「Share HAPPY」	10月16日～11月10日
	読書の葉	10月16日～11月10日
三宮図書館	「三宮図書館からどこへ行く？」	10月29日～11月24日
兵庫図書館	「SDGs私たちができること」	10月16日～11月10日
	参加型展示「SDGs私たちができること」	10月16日～11月10日
	「としよこちゃんと地球一周」	11月1日～17日
北図書館	本の福袋「この一行に逢いにきた」	10月19日～11月10日
	「キングオブブック」	10月19日～11月30日
北神図書館	「忙しいあなたへ！代わりに選んどきました！」	10月27日～11月10日
新長田図書館	「アニバーサリーアーティスト」	10月22日～11月17日
	参加型展示「お仕事 おしえて！」	10月22日～11月17日
須磨図書館	参加型展示「時間と豊かに暮らす」	10月16日～11月10日
	パパママ掲示板	10月16日～11月10日
名谷図書館	「みょうだにビブリオリシペ～お探しの本は図書館へ」	10月2日～11月1日
	「世界の子どもの本展」	11月3日～16日
垂水図書館	「スキマ時間に効く1冊」	10月29日～11月17日
西図書館	「ライフハック！生活をゆたかにしよう」	11月1日～17日

講演会、講習会など

中央図書館	トークセッション「まちの本屋」のこれから	11月10日	67人
名谷図書館	特別講演会「ロシア絵本の世界」	11月4日	61人

手づくり会・工作教室など

中央図書館	「マイ図書館バッグをつくろう」	11月9日(2回)	24人
東灘図書館	「包装紙を活用しよう」	11月3日	7人
三宮図書館	「図書バッグをつくろう」	11月4日	10人
兵庫図書館	「野菜スタンプでエコバッグづくり」	11月10日	5人
北神図書館	「大人も工作ライブ！ラリー 縫わずに作れる！ブックカバー」	10月24日	11人
須磨図書館	「スツと豆本～いつでもそばに詩集を～」	10月30日	7人
	「サクッ！とハンコでごあいさつ」	11月1日	5人
垂水図書館	「器のなかの小さな世界～苔テラリウム～」	11月3日(2回)	27人
西図書館	「心に響く名文でしおりをつくろう」	11月9日	4人

観劇型イベント

灘図書館	読書週間特別映画会	10月23日, 24日	20人
	子供むけ映画会	10月26日	4人
	大人むけ映画会	10月27日, 11月10日(各2回)	51人
垂水図書館	人形劇	11月17日	46人

雑誌リサイクルフェア

中央図書館	10月29日	譲渡者数 266人	譲渡冊数 1192冊
東灘図書館	11月9日	譲渡者数 117人	譲渡冊数 907冊
北図書館	10月27日	譲渡者数 113人	譲渡冊数 594冊
北神図書館	11月9日	譲渡者数 88人	譲渡冊数 618冊
新長田図書館	11月3日	譲渡者数 83人	譲渡冊数 649冊
西図書館	11月10日	譲渡者数 193人	譲渡冊数 654冊



トークセッション「まちの本屋」のこれから(中央)

体験・参加型イベント

東灘図書館	一日図書館員	11月16日	2人
灘図書館	ふらっと体験 スマホ図書館	11月8日	6人
三宮図書館	どうぞのぶたい	10月29日～11月24日	6人
	DDNight(デジタルデトックスナイト)～本に浸かる～	11月3日	20人
	大人の一日図書館員	11月10日	4人
北図書館	キングオブブック	10月19日～1月31日	20人
	こんとあきクイズラリー	10月19日～20日	19人
北神図書館	一日図書館員	11月4日	4人
新長田図書館	一日図書館員(低学年)	10月27日	5人
	一日図書館員(高学年)	10月27日	4人
須磨図書館	クイズラリー「活字でポン」	10月16日～11月10日	69人
	一日図書館員	11月3日	4人
名谷図書館	みょうだに 読書の会	10月27日	10人
垂水図書館	「よるのさんぽ～ぬいぐるみのおとまり会～」	10月27日～10月29日	5人
西図書館	大人版図書館見学ツアー	10月30日, 11月1日	10人
おはなし会・ストーリーテリング			
中央図書館	おひぎのうえのおはなし会	10月19日	29人
	おはなし会	10月26日	27人
	かみしばいの会	11月2日	9人
	たんぼおはなし会	11月9日	30人
東灘図書館	みんなのおはなし会	10月26日(2回)	26人
	おはなし会 えほんの時間	10月27日, 11月3日, 10日, 17日	51人
	おはなし会 お話と絵本の時間	10月27日, 11月3日, 10日, 17日	32人
	ミニ工作付きおはなし会	11月4日(2回)	17人
	こどもと大人が楽しむおはなし会	11月10日, 17日	26人
	おひぎのうえのおはなし会	11月13日(2回)	43人
灘図書館	ミニ工作つきハロウィンおはなし会	10月19日	6人
	おはなし会	10月20日(2回), 11月3日	27人
	おひぎのうえのおはなし会	10月31日	6人
	英語deおはなし会	11月9日	3人
三宮図書館	おはなし会	10月26日, 11月2日	30人
	おひぎのうえのおはなし会	11月9日	10人
兵庫図書館	おはなし会	10月19日, 26日(2回), 11月9日	17人
	おひぎのうえのおはなし会	10月25日	33人
北図書館	小さな絵本のじかん～こんとあきのおはなしかい～	10月19日	5人
	秋の古民家で朗読ライブ	10月20日	20人
	おはなし会	10月26日	2人
	おひぎのうえのおはなし会	11月2日	6人
	大人のためのおはなし会	11月3日	25人
	おはなしとえほんの会	11月9日	3人
北神図書館	赤ちゃんとふれあいおはなし会	10月27日	28人
	大人のストーリーテリング	11月3日	39人
新長田図書館	大人の楽しい朗読	10月26日	15人
	パパのおひぎでおはなし会	11月4日	14人
	大人のための秋のおはなし会	11月9日	8人
須磨図書館	ちいさなおはなし会	10月19日	5人
	えほんおはなし会	10月26日	7人
	おひぎのうえのおはなし会	11月1日	7人
	おはなし会	11月9日(2回)	13人
名谷図書館	よつば おはなし会	10月12日	5人
	ストーリータイム えいごのハロウィンおはなし会	10月14日(2回)	23人
	ふたば おはなし会	10月17日	6人
	みつば おはなし会	10月19日	16人
	おとなの朗読会	10月26日(2回)	28人
	ストーリーテリングの世界 ことばで楽しむおはなし会	11月2日(2回)	25人
	世界の言葉で「おはなしプレゼント」	11月4日(3回)	41人
	おひぎのうえのおはなし会	11月7日	12人
垂水図書館	おはなし会	10月31日, 11月6日	9人
	おひぎのうえのおはなし会	11月7日	8人
	ふれあいおはなし会	11月16日	9人
西図書館	おはなしでてこい	10月27日	74人
	おはなし会	11月3日, 10日, 17日	47人